

仏事の知識

僧侶の呼び方

お檀家さんが菩提寺の住職を呼ぶ場合、宗派によって呼び方が違います。曹洞宗では「方丈様」が一般的です。他に「ご住職さん」「和尚様」と呼んだりもします。または、・様と名前の場合もあります。「方丈」とは、一丈四方(四畳半くらい)の室のことで、住職の居住するところを言い、昔インドの維摩居士という修行者の部屋が一丈四方であったという故事に由来している。また、住職の起居する住まいを「方丈間」と呼んでいます。

日蓮宗では「お上人様」、浄土真宗は「御院主様」、真言宗は「僧正様」「院家様」と呼ぶそうです。曹洞宗の副住職(住職補佐・将来住職を嗣ぐもの)の呼び方は、「若方丈様」「若和尚様」と言いますし、尼僧さんは「庵主様」・「庵様」と呼んでいます。

ちなみに引退した僧は、「東堂様」「老僧様」「大方丈様」です。

第5回三遊亭鳳楽独演会

期日 平成21年10月4日(日曜)
 時間 午後4時半開場 5時開演
 会費 1000円
 定員 300名



*今年から開演時間を1時間早めて午後5時になりました。7月よりチケットの販売を始めます。鳳楽師匠は三遊亭円楽師匠の一番弟子です。日本の古典芸能「落語」の真髄を味わってください。

●秋の仏教講演会

期日 平成21年10月10日(土曜)
 時間 午後1時半より
 会費 500円
 講師 落語家 露の新治師匠



*「新ちゃんのお笑い人権講座」同和問題、いじめ、在日韓国・朝鮮人問題等差別と人権の問題を、自らの体験に基づき、熱く語ってくれます。
 主催 第17教区護持会

お 経 教 本 本 大 日本 宗 伝 宗
 義 尊 尊 本山 開 旨 統 名

わたくしたちの宗旨は

曹洞宗(そうとうしゆつ)といいます。
 曹洞宗は、お釈迦さまのご生涯と説法を慕い歩んでこられた、インド中国日本の祖師方が受け継いだ教えを實踐しており、これを正伝の仏法と呼んでいます。

曹洞宗は、「仏祖単伝の正法に遵い、只管打坐即心是仏を承当(会得)すること」を宗旨としています。

私たちの曹洞宗は、今からおおよそ八百年ほど前に、道元禪師が禅の教えを中国から日本に伝えられ『正法眼蔵』にまとめられました。そして、それに基づいて四代目の瑩山禪師がその弟子たちとともに、各地に教えをひろめていかれました。その様子は『伝光録』に記されています。このお二人を両祖大師とお呼びしています。

福井県 吉田郡 吉祥山永平寺 高祖道元禪師ご開山(神奈川県横浜市 諸嶽山總持寺 大祖瑩山禪師ご開山)
 曹洞宗は、お釈迦さまをご本尊とします。
 南無釈迦牟尼仏(なむしゃかむにぶつ)
 私たちは、人間として生をつけながら、いのちの尊さに気づかず、自分中心の考え方やわがまま勝手をして、人生の悩み苦しみのもとをつくってしまっています。しかし、仏教徒としては、お釈迦さま(仏)の教え(法)に出会い共感し、自らの過ちを悔い(懺悔)、いのちの尊さに目覚め(智慧)、その生きる姿勢を慕い(禪定)、自分たちの生活の指標(戒)としていくことを志していく(帰依)もの集まり(サンガ=僧)なのです。そして、生活を調べていくうえで、お釈迦さまの教えをいつも自覚(希施)し、自分勝手な行動をつつしみ(愛語)、周囲の人たち(利行)に心を砕いて(同事)いくことが、社会に奉仕(利行)していくことにつながると考え、実践していくこととしているのが曹洞宗の教えなのです。

『般若心経』『修証義』『法華経普門品』『法華経寿量品』等。